

長岡市立四郎丸小学校の取組



平和祈願祭では、自分たちで何ができる
か考える機会となりました。

修学旅行先の昭和館からもらった資料
を読み、長岡空襲について考えました。



初めて鶴を折る児童はタブレットを活用し、
千羽鶴を自分たちで丁寧に折りました。



長岡市立千手小学校の取組



5年生学習発表会「白菊の願い」

毎年、5年生は平和学習として長岡空襲について学習しています。昨年度は、空襲を体験した今泉恭子さんにご講話いただいたり、戦災資料館に行って当時の様子について学習したりしました。

学習発表会では、学んだことのまとめとして劇を行い、親子で空襲の悲惨さや平和の大切さについて考えました。



今泉さんの実体験を元に子どもたちが中心となって台本を考えて劇を行いました。

当日は多くの保護者の方に見ていただき、親子で平和について考える良い時間となりました。

【劇の内容】

現代の子どもたちが今泉さんの幼少期の時代にタイムスリップし、戦争の時代に起きていたことを体験します。食べ物が足りずお腹をすかせて亡くなってしまう方、防空壕に避難したにも関わらず焼けて亡くなってしまう方、柿川の水の中で亡くなってしまう方等、たくさんの方が空襲で命を落としてしまった様子を再現し、劇の中で伝えました。

8月1日に毎年上がる「白菊」の花火、この花火に込められた想いをみんなで考える劇になっていました。

劇を通して、子どもたちや保護者の方からは「平和な世の中は当たり前ではない。この平和が続くよう私たちも考えていく必要がある。」「戦争の悲惨がよくわかった。二度と繰り返してはいけないと改めて思った。」等の振り返りがありました。

平和学習を通して、戦争の時代にあったことを学び、二度と繰り返してはいけないこと平和な社会の大切さに気づくことができました。

長岡市立黒条小学校の取組



黒条小学校 6 年生は、平和学習の一環として、長岡空襲について学習しています。

7月2日に、平潟神社平和の森公園など空襲にかかわりのある場所に見学に出かけました。

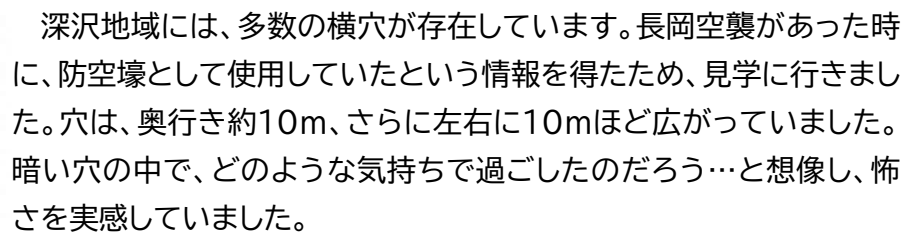


平潟神社の慰霊碑を見学しました。

慰霊碑の前で空襲で亡くなった方にお祈りをしました。



平和の森公園の平和像を見学しました。



寄せ書きの丸について

① だれが書いた？

- 先生
- 町の人
- 家族
- 本人
- 友人
- 佐の上の人が書いた
下の人に

② 何に使った？
どうしてこのようなこと？

目印として、

戦前に行き前に記名
↓
行った証紙に

戦争に看做された人の名前
戦争に月券のために応援

特別なき、一國と國や同じするどき、
わんぱく
重要な場所(国とて)、アビラ

日丸
どんな時
とどう？

出し
し
証
征

武運長久
(た
た
め
に
長
く
)

共通して書かれた文字

A group of approximately ten people, including children and adults, are gathered around a low wooden table in a room with large windows. They are engaged in a group activity, possibly a lesson or a game, with papers and a red bag on the table. The room has a traditional Japanese feel with tatami flooring and a sliding door in the background.

今年 99 歳になられる地域の方から、東京大空襲、長岡空襲の経験談、戦争当時の生活の様子を聞きました。市街地と比べると深沢地区は空襲による被害が少なかったこと、当時は勉強どころではなく子どもも世の中の大事な働き手であり自由な生活はなかったこと、白いお米を食べられることは大変貴重であったことなど、今の生活からはとても想像できないことばかりでした。当たり前ではない今の生活、自由に過ごせる幸せに子どもたちは気付きました。

長岡市立希望が丘小学校の取組



1



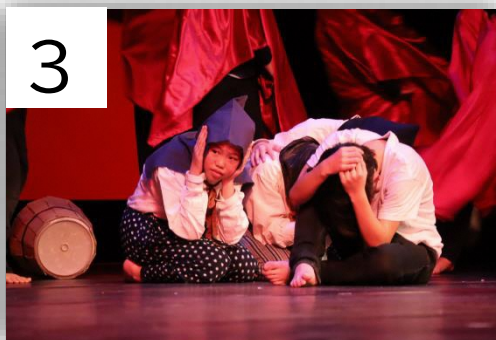
2



2



3



3



4

- ① 希望が丘小学校の6年生は総合的な学習の時間で、平和学習(太平洋戦争、山本五十六、長岡空襲、長岡の復興等)に取り組んでいます。そして、その事実を自分の目で確かめ、肌で感じるために長岡空襲に関係ある場所を巡っています。6月の平和巡検では、左近の模擬原子爆弾投下地、平潟神社、神明神社、平和の森公園、昌福寺の戦災殉難者の墓、山本五十六の生家等を訪れ、講師の先生方より長岡空襲等のお話を聞きました。自分の目で確かめることで、「昔にどこかで戦争があった」ということではなく、「確かに自分の故郷で戦争があった」ことを実感し、戦争の恐ろしさ、悲惨さについて深く考えることができました。
- ② 戦争体験者の方から貴重なお話を聞く学習をしています。1945年の8月1日にあった恐ろしい空襲、一瞬で奪われた日常の幸せ、失われたかけがえのない命。家族を失う悲しみ。そのようなお話を聞きながら、子どもたちは、「戦争の悲惨さ、平和のありがたさ」を伝えていかなければならないという気概をもつはずです。
- ③ 令和6年11月28日、長岡リリックホールで6年生あおぞら学年が、総合創作劇「一人ひとりの長岡空襲2024～未来への誓い つなぐ平和への一歩～」を上演しました。劇では、空襲で亡くなった1488名には幸せな日常があったこと、また、全ての長岡市民に空襲が襲い、かけがえのない家族を失った人の悲しみも想像を絶するものだったこと、空襲の激しさを表現しました。劇で表現することで、多くの方の体験談等から学んだ「一人ひとりの長岡空襲」を自分事として考えることができました。
劇の最後には、「これからの平和は自分たちで創る」という思いを、「幸せ」の歌で伝えました。上演後には、「慰霊、復興、平和」の気持ちを込めた「白菊」の花火を嘉瀬煙火工業様より上げていただきました。
- ④ 書・篆刻作家の柳澤魁秀先生により、自分の想いを言葉にする大切さを教えていただき、総合創作劇で伝えたいことをメッセージにし、巨大書を作成しました。学年全員で分担し、その文字に自分の想いを乗せ、心を込めて書きました。

長岡市立川崎東小学校の取組



長岡戦災資料館で、豊富な展示資料を見学し、長岡空襲について詳しく学びました。さらに、戦争体験者の谷 芳夫さんから、当時の様子をお聞きしました。

山本記念公園のすぐ傍にある山本五十六の生家をタイミングよく見学することができました。当時の家の造りに興味津々でした。



山本五十六記念館で、山本五十六ゆかりの展示品の数々を見学したり、長岡コンベンション協会のガイドさんから詳しく解説をしていただいたりしました。



平和の森公園では、平和像に込められた強い願いを知り、二度と戦争を起こしてはいけないという思いを強くしました。



長岡青年会議所の方から、長岡空襲についてお話を聞きました。多くの尊い命が失われた事実を知り、これからの未来のために、自分たちができることは何かを考えました。

長岡青年会議所の方から、長岡空襲についてお話を聞きました。多くの尊い命が失われた事実を知り、これからの未来のために、自分たちができることは何かを考えました。



長岡市立秋葉中学校の取組



秋葉中学校では、相手の立場や思いを自分事としてとらえ、寄り添うことによって自他の尊さを理解する生徒の育成を目指し、人権教育、同和教育を中核とした平和学習を行っています。



6月 長岡青年会議所の方をお迎えした平和学習(1年)

戦災都市長岡の長岡青年会議所の方からお出でいただきました。
「若い視点で長岡空襲をとらえ、悲しい歴史を繰り返さず、そして長岡の伝統をさらに発展させていこう」とする講義でした。



7月 平和フォーラム(全校)

長岡人権擁護委員協議会の協力により、ウクライナから小千谷に避難されているご夫婦を講師に招き、人権講演会を開催しました。
ウクライナの現状や故郷の平和への思いなどについてお話しいただき、平和や人権について考え学びました。



9月 義の元服式(2年)

刈谷田中学校の生徒とともに参加し、常安寺にて行われました。
上杉謙信公の逸話や「義の心」について学び、座禅会やご焼香といった貴重な体験もしました。最後は全員で「関(とき)の声」を唱和し、両校代表生徒2名が参加の証である「誓いの言葉」を授与されました。



2月 市海外派遣事後報告会(全校へリモート)

長岡市の代表の一人として参加した生徒が、現地での体験を通して「海外との文化の違いに戸惑うこともあったけれど、互いの生活習慣や文化、個性を尊重しあう心があれば必ず理解しあうことができると学びました」と体験報告と感想を発表しました。

3月 修学旅行(2年)

平和学習の一環として、1日目に広島市の平和記念公園を訪れました。ガイドの方からの説明を聞き、モニュメントの前では代表生徒が「平和への誓いの言葉」を述べ、全員で黙とうを捧げました。その後、資料館を拝観し、改めて戦争の恐ろしさと平和の大切さを感じました。2日目の朝には原爆ドームを訪れました。

3年生は、平和学習の集大成として、「平和のために自分たちにできること」をそれぞれの生徒が考え、レポートにまとめます。

